

キーワード： 自閉症児の母親、援助ニーズ、母親役割、女性特性、日中比較
人間科学研究科 博士後期課程 D1 CHEN Tingting 吉 沅洪ゼミ

自閉症児を持つ母親の自己効力感、社会支持 (SS) 及び育児ストレスの関連 (李・方・趙, 2015)	・育児ストレス：自閉症児母親 > 健常児母親； ・自己効力感&社会支持：自閉症児母親 < 健常児母親； ・自己効力感が高い母親は育児ストレスの得点が低い； ・社会支持が少ない母親は、育児ストレスの得点が高い。
自閉症児を持つ母親の育児ストレスサー (徐・趙, 2018)	誤った認知；ネガティブな取り扱い方；社会支持の不足；不適切な期待

研究者	研究対象	研究焦点
黄淑賢 (2002)	自閉症児の親	レジリエンス； 受容、直面、共感など
Tomaniら (2004)	自閉症児の親	正向特質； 良い性格、適切な認知、内的帰属など
尾野・茂木 (2011)	障害児の母親	育児レジリエンス
山根 (2014)	発達障害児の母親	Benefit Finding (BF)

就職・恋愛
結婚・生産・育児

母親役割は、子どもをケアする・養育する・服務する・慰めるような責任に問われる社会役割であると定義される（張，1997）。「母親役割」を果たすのは一女性の価値を表現することであり、「賢妻良母」は社会から持たれている理想的な女性のイメージであると考えられる。

現代社会において、男女平等といえながら、女性ばかりに育児責を押し付けることが常に存在する。社会福祉制度が改善していくと、個人主義と女性主義が興る背景の下に、女性には家庭から外に出て、職場に力を注ぎ、個人趣味の中から達成感や価値観を得るから、これは女性が家事から解放するわけではなく、女性はすべて背負ってきた母親役割を果たさなければならぬだけでなく、前より多くの役割を引き受けるようになり、家庭生活と職場とのバランスを維持する必要がある（鄭、2019）。

「女性は母親であり、母親は母親役割を担う責任が
られている。このように、生物の本能（生産）が社会の意
ように考えるのは女性を縛り付けてしまうのである。

- ①＊自閉症児を持つ母親の援助ニーズ及びその気持ちが自閉症児の発達段階に沿って、どのように変化するかを明らかにする。
- ②女性特性に焦点を当て、母親役割につながりながら、自分自身の発達段階に沿って、どのような課題が存在するのかについて検討する。
- ③日中比較を通して、自閉症児を持つ母親の援助ニーズの諸特徴及び各自女性特性は両国における共通性と違いを明らかにする。また、その差異が起きた原因についても触れる。
- ④③の結果に基づいて、日中各自な自閉症児を持つ母親の援助ニーズ尺度を作成し、その信頼性と妥当性を検証する。

❖ 第一段階：文献レビュー；
❖ 第二段階：質的研究；
❖ 第三段階：尺度作成；
❖ 第四段階：量的研究。

研究時期：2019年8月上旬～2022年3月31日。
其の内、中国におけるインタビューの実施時間：
2019年12月25日～2020年3月16日

母親年齢	職業	診断所属職業	学歴	父親年齢	兄弟年齢	兄弟性別	障害程度	言語能力	合併症	兄弟
33歳	家庭主婦	公務員	大学	35歳	3歳	男	軽度	あり	知的障害	無
38歳	家庭主婦	会社員	大学	38歳	5.6歳	男	軽度	あり	ADHD	無
35歳	家庭主婦	IBR	大学	37歳 (現病中)	5.5歳	男	中度	あり	ADHD	3歳上の姉
39歳	家庭主婦	マネージャー	大学	39歳	7.5歳	男	軽度 (AS)	あり	ADHD	無
40歳	施設の担当者	弁護士	大学	48歳	14歳	男	中度	あり	知的障害	無
45歳	SC	SC	大学	39歳	14.5歳	男	重度	あり	知的障害	無
50歳	定年	管理職	大学	54歳	22歳	男	軽度	あり	無	無

自閉症児の発症段階に沿って：幼児前期3名、幼児後期1名、青年期2名、成年前期1名
 母親の発症段階に沿って：全員は中年期であり、30～39歳4名、40～49歳2名、50～59歳1名

中国：上海市の自閉症療育施設を通して、自閉症児の母親を10名募集。既に7名実施した。

倫理審査：2019年8月2日、立命館大学「人を対象とする研究倫理審査委員会」の倫理審査を受け、承認された（承認番号：衣笠-人-2019-36）。

参加者と一対一で半構造化インタビューを行った。参加者の同意を得て、インタビューにおける参加者との言葉のやり取りを記録するため、録音をした。インタビューは以下のようなステップで実施した。

Step1 : 一枚のA4用紙に動的家族描画 (Kinetic Family Drawings, 以下K-F-D : 家族全員が何らかの行為、もしくは動作をおこなっているところ) を描かせた。その後、描画内容について、質問した (15~20mins)。

Step2：9つの質問をめぐって半構造化インタビューを行った（45～60mins）。
（現状、育児困難、受けた援助、育児幸せの出来事、母親になった前後変化、
育児以外の困難、女性課題、印象深いごと、未来の展望）

修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) で、分析を行った。分析は二つの焦点「母親役割」と「女性特性」に当てながら、検討した。分析テーマは「子どもの発達段階に沿った母親の援助ニーズ」と「自分自身の発達段階に沿った女性の課題」である。

母親役割から母親支援のあり方を検討

- ❖ 自閉症児の母親として、母親になった一瞬、生涯をかけて、二人の人生が重なる。母親を援助する際、子どもの発達段階に伴いながら、ニーズが変わっていく。時期ごとに、母親に相応する支持を提供する必要がある；
- ❖ 自閉症児の母親が悩んでいるのは助けを求めたいが、現段階にサービスを提供してくれるところが少ない、費用が高い。自閉症児・者及びその家庭に大きな経済的な負担をかける；
- ❖ 子どもの就学問題を解決するのが母親の一番援助ニーズと言える。早期療育・学前教育そして学校教育が現在解決するべきな課題である；
- ❖ 教育に合わせた早期医療診断システムの成立、公立療育の建立、カウンセリング施設の設置など、社会制度を改善することが求められている。

消極面

発達段階	実際の生活	自閉症児を持つ母親の援助ニーズ
乳児期（0～1.5歳） 幼児前期（1.5～3歳）	診断前後	診断前：子どもは異常があると気づいた不安と混乱（宇津・伊藤，2019） 診断後：ショックを受けた同時に、ホッとした。徐々に事実を受け止めるようになった。完全に受容するまでにいかないが、一生をかけて努力している（宇津・伊藤，2019）； 自分と良い愛着関係を形成することができない（坂口・別府，2007）。
幼児後期（3～6歳）	幼稚園	問題行動の関係で、自閉症児は園内生活に適応することが難しい（Hastings，2002）； 就学前後、母親は肯定・中間・否定の多層的心理が存在する（宇津・伊藤，2019）
児童期（6～12歳）	小学校	母親は子どもが普通学校に通わせるかどうかを独自に決めるストレスに直面する（渡辺，2016）
青年期（12～18歳）	中学校・高校	思春期における子どもの問題行動が強まったことは母親のストレスのもとで、身体の成長によるお互いの力に大きな差もある。
成人前期（18～40歳）	卒業後	学校を卒業後、生活の場の問題（宇津・伊藤，2019）
成人中期（40～65歳）	成人	親が老後・没後の生活の問題（博，2008）；
成人後期（65歳以上）		三菱財団助成の調査結果によると、8割の親は、「親亡き後のことを考えると、子供よりも一日でも長生きしなければと思った」と答えた。

中田（1995）は障害児の親の心理過程を理解する際のモデルとして、**螺旋形障害受容モデル**を指摘した。これは「段階説」と「慢性的悲哀説」を包括し、肯定と否定の感情が常に存在し受容に至る全過程を適応過程と見る長期モデルである。障害受容の過程は肯定と否定を両立し存在する螺旋的な過程である。

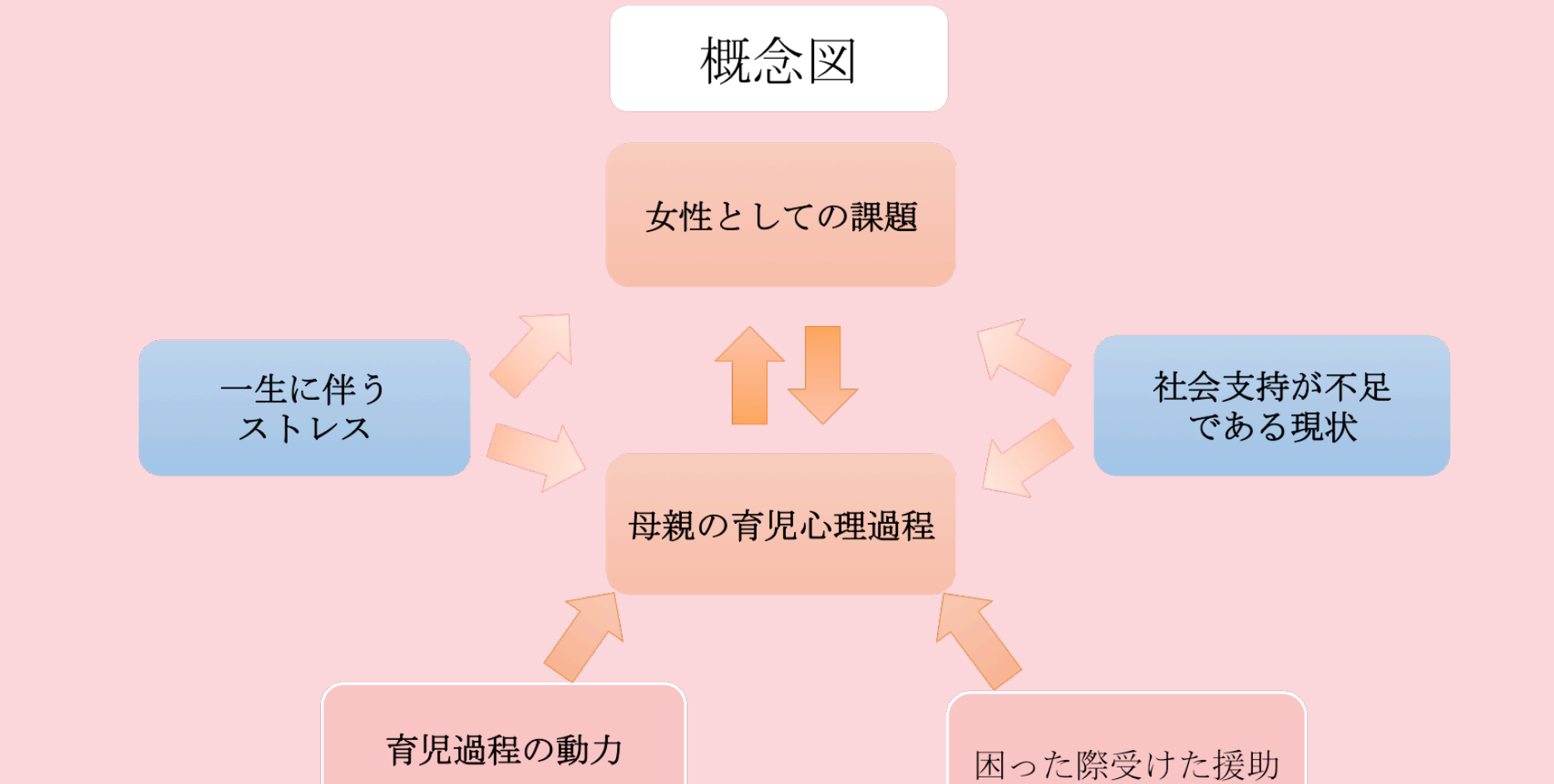
近代アジア女性像という点、日本では「良妻賢母」、中国では「賢妻良母」、韓国では「賢母良妻」という言い方がある。類似と差異の両面を感じさせる表現である。

また、社会分業について、中国には「男は外、女は内」という伝統があり、日本にも「男は仕事、女は家庭」という言い方がある（江原，2004）。

博士後期課程では、日本と中国における母親役割と女性特性の異同にも着目して援助ニーズの比較研究を行うことも、合わせて課題としておきたい。

M-GTA分析の結果によって、6つのカテゴリーと39個の概念を抽出した。

カテゴリー（6個）	概念（39個）
女性としての課題	1家族全員の情緒安定を維持する責任を担う 5子どものため、仕事を辞めた 41自我の喪失 14自己価値の迷いによる不安 36自己は社会との繋がりが切れることを心配する 21以前の友達と離れて自分を孤立させてしまった 38ストレスを発散する場がない 39診断前異常を気づいた辛い気持ち 7誤った認知による偽善心理 4診断結果が告知された逃避・混乱 3現実を受容し、積極的に対応する 22夫と育児観が合わない 10専門知識の不足による恐慌
母親の育児心理過程	12子どものトレーニングが詰まったことによる焦慮 34子どもが園内生活に適応できないことによる不安 37子どもが普校か、特校かに通わせることに迷った 30思春期に頻繁に起こる問題行動にストレスを感じた 40卒業後・施設に離れた後行き場の問題 31老後・没後子どもの未来を心配する
困った際受けた援助	8診断医者が明らかに結果を告知することに感謝する 11専門の先生に助けられた 19他の母親とお互いになぐまけた 24夫は育児ストレスを分担し始めてくれた 27家族や友達からの経済的・心理的な援助 6家族や親戚の不理解による焦慮 17子どもと考え方が合わない際の困却 28子どもの一切を決定するストレス
一生に伴うストレス	2自分の不安定は子どもに影響を与える心配 13誰にも言えない焦慮 20焦慮が繰り返して生じる 35子どもとともに縛られた人生 18生活に子どもが存在しない空虚 23介入が家庭に巨大な経済的な負担をかけた 29外からの視線を心配する 16親を支持する社会資源が欠けている 26社会制度が不完全である
社会支持が不足である現状	15子どもが自分で難関を乗り越えたことからの喜びと希望 33育児の幸せな時 32母親になった自分が強くなった気がする
育児過程の動力	



これから

- ・予定通りに、中国のインタビューを進める
- ・日本のインタビュー対象と連絡する
- ・他の分析方法を検討する

1) 大学紀要 第61巻(1) p3-10
2) 信州学刊, 1996(03)

7) 心理学(社会科学版), 2018, 36(04): 68-73.

8) 特殊教育, 2016(03)
求められる用件 東京都特別教育総合研究所研究紀要 第41巻

9) 1) 医学医科大学大学院, 2015(11)
2) 渡の信情性と妥当性, 及び国庫要因の検討 社会医学研究 第31巻 p129-36
3) けいこが「アイツ」感ずる「話し」英のなる本」の制作を通して - 応用臨床心理学研究 第1巻(10)

10) 中国心理卫生杂志, 2009(06)

11) 1) ある成果 心理学研究 doi:10.1002/j.1469-7610.13053
2) けいこが地域における医療・福祉施設の役割-南多摩5市)における質問紙調査に基づ

12) 随訪[J]. 中国心理卫生杂志, 2010(06)
3) 心霊解明[J]. 中国青年研究, 2019(01): 46-53.
4) 随訪[J]. 中国心理卫生杂志, 2019(07): 77-81.
5) 科学的調査研究[J]. 科学文芸(下)刊, 2015(01): 170-171.
6) 随訪[J]. 79-83.

13) 中国特殊教育, 2012(12): 40-46.

14) 科学, 2019(07): 87-95.
特殊教育机构的比较研究[J]. 首都师范大学学报(自然科学版), 2013(04)